

ザ・リッツ・カールトン沖縄の吉江潤総支配人(右)と樺澤俊哉PRマネージャー＝1日、琉球新報社



ケーキでアジアの子支援

収益を医療慈善団体へ リッツ沖縄 予約受け付け



外資系高級ホテル「ザ・リッツ・カールトン沖縄(吉江潤総支配人、名護市喜瀬)」は、アジアの口唇口蓋裂の子どもたちを支援するチャリティ活動「スマイル・アジア・ウィーク」を5～11日に実施する。特製ケーキを限定100～200個販売し、原材料費を除く収益の全額を国際児童医療慈善団体に寄付

する。東京、大阪、沖縄地区の約20のグループホテルで取り組む。

3地区のホテルシェフが共同開発したチョコレートケーキは一つ一つ手作り。受け取り3日前からの要予約制。既に予約を受け付けており、1個3千円(税別)で販売する。

1日、琉球新報社を訪れた吉江総支配人は「この活動で一人でも多くの子どもたちの笑顔を取り戻したい」と述べた。

問い合わせは☎0980(43) 515151。